

授業科目		科目概要・形式	配当年次
社会福祉学特論Ⅳ  (貧困・生活困窮者対策特論)		2 単位    30 時間	1 年   後期
科目責任者	出雲 祐二		
担 当 者	出雲 祐二、村田 隆史		
1. 科目のねらい・目標			
本講義の目的は、社会福祉学分野における貧困・生活困窮者対策の実態と研究動向について学ぶことである。貧困問題の解決は社会福祉の原点であり、古くて新しい課題といえる。また、今日の貧困問題は多様化しており、解決法にも総合的な視点が必要となっている。講義は各教員が進めていくが、最終的には受講者が関心のある分野の先行研究を分析し、研究課題を設定できるようにする。			
2. 授業計画・内容			
第1回 貧困・生活困窮者対策をめぐる今日の動向（出雲、村田）			
第2回 貧困問題と社会福祉の関係（出雲）			
第3回 貧困問題と社会福祉研究（出雲）			
第4回 戦前日本の貧困問題（出雲）			
第5回 戦後日本（1945 年～1955 年）の貧困問題（出雲）			
第6回 戦後日本（1955 年～1973 年）の貧困問題（出雲）			
第7回 戦後日本（1973 年～1990 年）の貧困問題（出雲）			
第8回 諸外国の貧困問題（出雲）			
第9回 今日の日本（1990 年以降）における貧困問題（村田）			
第10回 貧困問題と生活保護制度（村田）			
第11回 貧困問題と低所得者対策（村田）			
第12回 貧困問題と生活困窮者自立支援制度（村田）			
第13回 生活保護制度の実態に関する事例検討（村田）			
第14回 生活困窮者自立支援制度の実態に関する事例検討（村田）			
第15回 貧困・生活困窮者対策に関する先行研究の分析（村田）			
3. 教科書、参考書			
受講者と相談した上で決定する。			
4. 成績評価方法			
講義での報告と討議   50%			
最終レポート   50%			
5. 受講要件			
特になし。			
6. 社会人学生に対する配慮			
受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。			
7. その他			
特になし。			